



No.	評価項目	評価項目の指標	低 級 0ポイント	初 級 1ポイント	発 展 2ポイント	達 成 3ポイント	超 域 4ポイント
1	ターゲットと手段	広報のターゲットが設定され、それに見合った広報手段が用いられており、それらが具体的に説明されていること	ターゲットが設定されていない、または設定されているか分からない	ターゲットが設定されているが、それに見合った広報手段が用いられていない	ターゲットが設定され、それに見合った広報手段が用いられている	複数のターゲットが設定され、それぞれに見合った広報手段が用いられている	(審査員の自由記述)
2	広報手段の新規性、独自性	- 従来の広報手段にとらわれず、これまでにない手段が開拓され、それらが具体的に説明されていること - 新しい手段による効果が定量的に説明されていること	手段が説明されていない	従来の手段のみを使用して広報を行った	これまでにない手段で広報活動を行った	これまでにない手段で広報活動を行い、その定量的効果が認められる	(審査員の自由記述)
3	広報手段の種類と成果	- 複数の広報手段を用いていること - それぞれの成果が定量的に説明されていること	手段が説明されていない、または効果が定量的に説明されていない	手段とその定量的成果が種類以上説明されている	手段とその定量的成果が種類以上説明されている	手段とその定量的成果が種類以上説明されている	(審査員の自由記述)
4	広報の影響	定量的な結果から、広報活動による効果があったといえるか、説明されていること	効果が全くなかった、または効果があったか分からない	僅かながら効果があった	一定の効果があった	効果が大きいにあった	(審査員の自由記述)
5	提出資料の構成力	提出された資料の内容が論理的に構成されていること	本文が散発的で、構成が不明瞭	セクション構成があるが論理展開が弱い	課題・工夫・成果を明確かつ論理的に展開している	本文が論理的に展開されたうえで、用語や情報の説明が第三者から見てわかりやすいレベルで整理されている	(審査員の自由記述)
6	視覚資料の有効性	写真や図表が本文と連携できていること	写真・図表の視覚的補助がない、もしくは写真・図表があるが本文の理解の助けになっていない	本文の理解を助ける写真・図表が不足しており、理解しづらい本文が多数ある	- 写真・図表が本文の理解を助けているが、写真・図表が不足している本文が一部ある - 図表番号を用いて本文と連携できている	- 本文の理解を助ける写真・図表が、あるべき場所すべてに配置されている - 図表番号を用いて本文と連携できている	(審査員の自由記述)

No.2に関する補足

従来の広報手段の例

- ・Webサイト
- ・SNS

No.3に関する補足

- ・成果とは、エンジニア育成、CoREのコミュニティ拡大等を指す